

第3次調査の概要

どこを（調査場所）



いつ（調査期間）

平成2（1990）年4月12日～6月25日

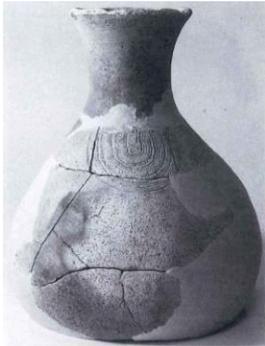
だれが（調査した人）

赤坂遺跡調査団

調査概要

所在地 神奈川県三浦市初声町下宮田字赤坂482番
調査面積 680㎡
調査原因 宅地造成に伴う調査
主な遺構 住居址4軒 溝状遺構6条 道路状遺構1条
主な遺物 縄文土器片・弥生土器（壺形土器）・弥生土器片（壺形・深鉢形・鉢形・高坏形）・打製石鏃・磨製石斧・石剣・敲石・砥石・土製品

特記事項 1A・3号住居址出土の遺物から石器製作場としての可能性が考えられる。また、石剣の出土は、この遺跡の重要性を高める資料である。発見された溝の意味については不明な点が多いが、住居址より新しいことが、3号住居址と4・5号溝の切り合いから指摘できる。今までにも赤坂遺跡内から検出された溝は住居址を切っているものが多い。（参考文献：『三浦市赤坂遺跡・第3次調査地点の調査報告・1992年3月』）



出土した壺形土器
（弥生時代中期後半）
（所蔵：三浦市教育委員会）



出土した石剣
（所蔵：三浦市教育委員会）



1A・3号住居址遺跡調査区全景写真。写真奥が1A住居址、手前に3号住居址と4・5号溝。（所蔵：三浦市教育委員会）